

7. 8 私設代用管の施工について

7. 8. 1 私設代用管の定義

公道、私道その他これらに類するものとして、管理者が認める道に縦断方向に布設されている給水管をいう。

7. 8. 2 施工（20mmから50mm）

- 1 既設配水管からの私設代用管分岐口径は、指針第7章 表7-2による。
- 2 管種は、ポリエチレン二層管（PE）とする。ただし、口径50mmは、水道配水用ポリエチレン管（HPE）も可とする。
- 3 ポリエチレン二層管（PE）の継手は、金属継手とする。
水道配水用ポリエチレン管（HPE）は、電気融着式継手（EF継手）とし、必要な場合は金属継手又はメカニカル継手も可とする。
- 4 ポリエチレン二層管（PE）の止水栓は、一文字止水栓とし、鉄製の止水栓筐を使用すること。水道配水用ポリエチレン管（HPE）は、ソフトシール仕切弁とし、仕切弁筐を使用すること。
- 5 他の埋設管と私設代用管との離隔は指針「7. 4. 3」による。
- 6 使用材料は、市の承認を受けたものを使用すること。

<解説>

- 1 管種は、ポリエチレン二層管（PE）を使用すること。ただし、口径50mmに関しては、水道配水用ポリエチレン管（HPE）が望ましい。なお、ビニル管（VP）の使用は不可とする。
- 2 道路上に設置する第一止水栓は、ポリエチレン二層管（PE）は、「一文字止水栓」を使用し、継手は「PEメーター用」を使用すること。パッキンは、「金属入りパッキン」の使用が望ましい。水道配水用ポリエチレン管（HPE）は、「ソフトシール仕切弁」を使用すること。
- 3 配水管、他の埋設管及び構造物との離隔は、事故防止のため30cm以上とする。（7. 4. 3 給水管の保護）
- 4 配水管分岐から水道メーターまでの材料は、市の承認を受けたものを使用すること。

7. 8. 3 施工（75mm以上）

- 1 施工計画について、担当課・室と事前に協議を行うこと。
- 2 担当課・室の指導のもと施工を行うこと。

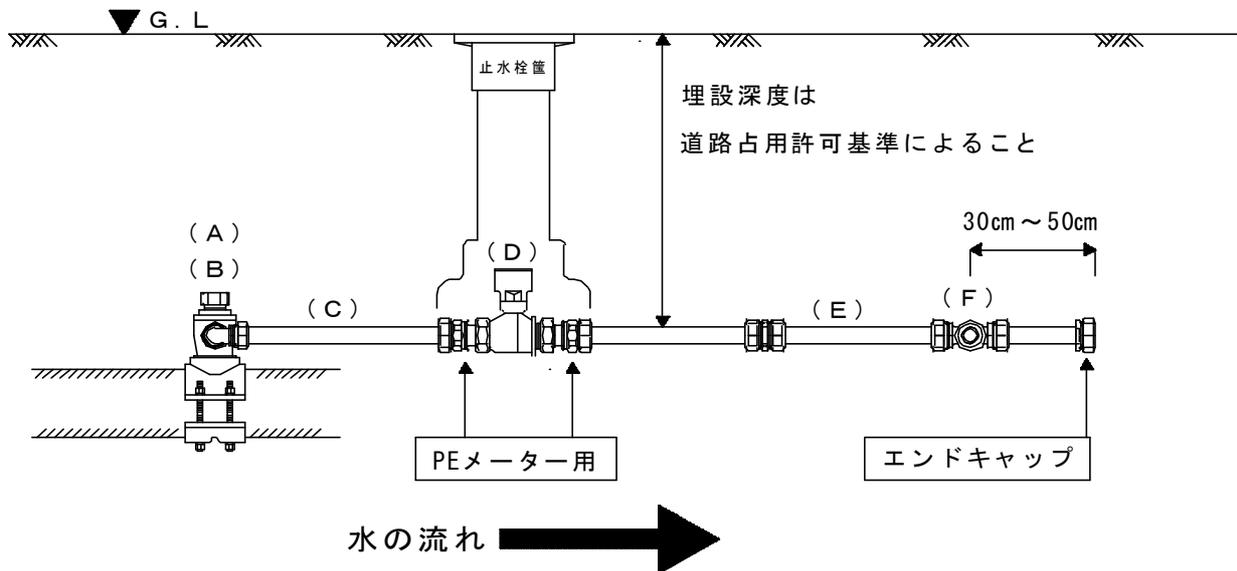
表7-8-1 ポリエチレン二層管 (PE) を使用する場合
既設配水管分岐から引き込み管分岐まで (→ 水の流れ)

分岐口径 (A)	分岐材料 (B)	私設代用管 (C)	道路上止水栓 (D)	私設代用管 (E)	引き込み管分岐 (F)
20 mm	・ HILA チーズ	・ PE 二層管	・ 一文字止水栓 (止水栓筐)	・ PE 二層管	・ PE チーズ
25 mm	・ PE チーズ				
30 mm	・ サドル付分水栓				
40 mm	・ 割 T 字管				・ PE チーズ
50 mm					・ サドル付分水栓

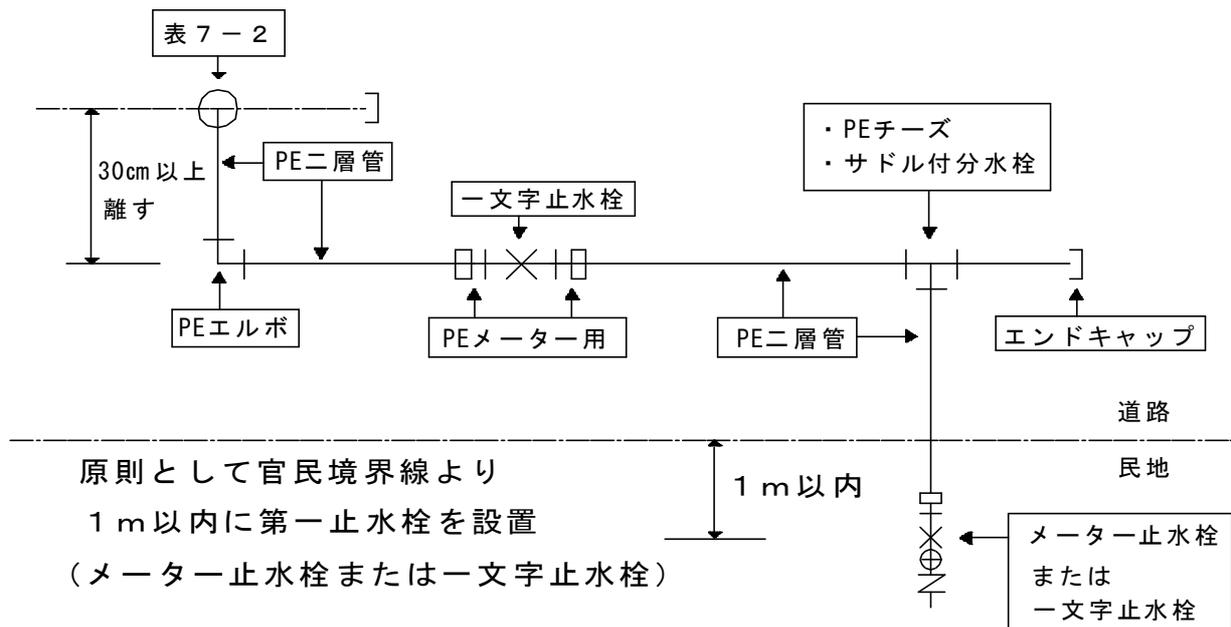
※上表内の記号は、下図の記号を示す。※分岐材料は、配水管の管種、口径による。

図7-9-1 私設代用管 (PE) の標準施工図

【立面図】



【平面図】



原則として官民境界線より
1 m 以内に第一止水栓を設置
(メーター止水栓または一文字止水栓)

表 7-8-2 水道配水用ポリエチレン管 (HPE) を使用する場合

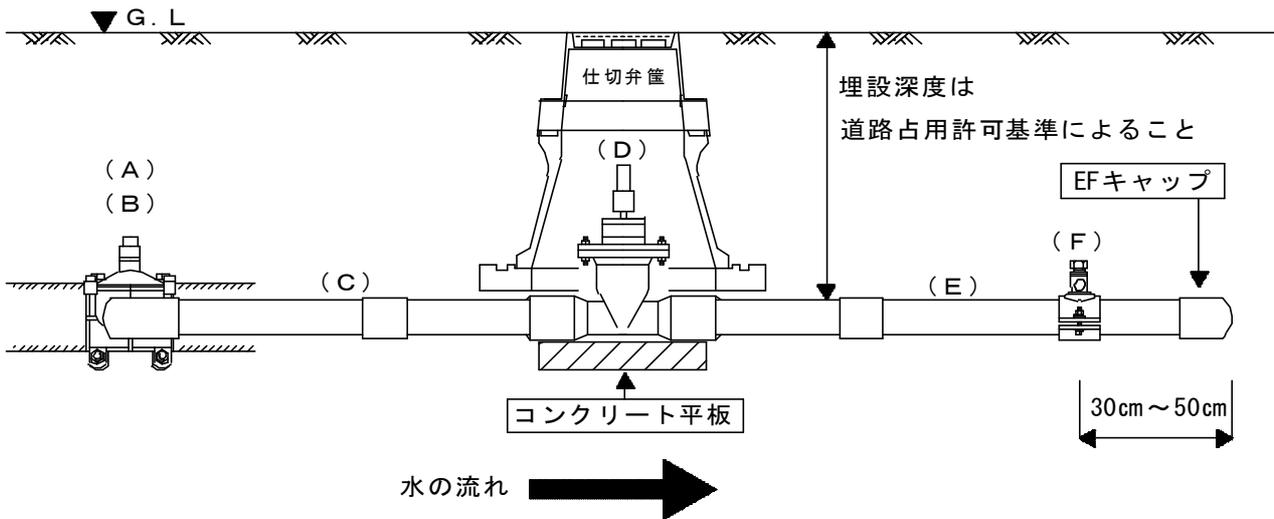
既設配水管分岐から引き込み管分岐まで (→ 水の流れ)

分岐口径 (A)	分岐材料 (B)	私設代用管 (C)	道路上止水栓 (D)	私設代用管 (E)	引き込み管分岐 (F)
50 mm	・割T字管	・HPE	・ソフトシール仕切弁 (仕切弁筐)	・HPE	・サドル付分水栓 ・割T字管

※上表内の記号は、下図の記号を示す。※分岐材料は、配水管の管種、口径による

図 7-9-2 私設代用管 (HPE) の標準施工図

【立面図】



【平面図】

